

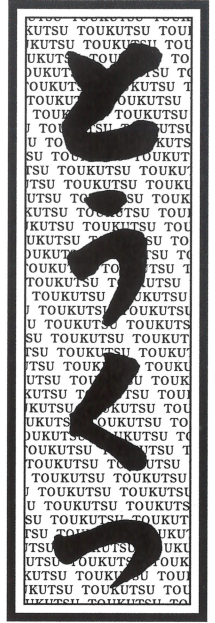
西村勝三は1837年1月15日に佐野藩側用人、西村芳郁（西村平右衛門）と榮子の三男として、佐倉藩支藩の



西村 勝三

皆様ご承知の通り3月15日は日本靴連盟が、わが国で最初に靴工場が始まった日を記念して「靴の記念日」と定めています。令和2年3月には150周年を迎えました。

「西村勝三翁」靴の記念日に思う



一般社団法人
東靴協会
千代田区鍛冶町1-6-17
〒101-0044 ☎(3252) 5656
(3月号)

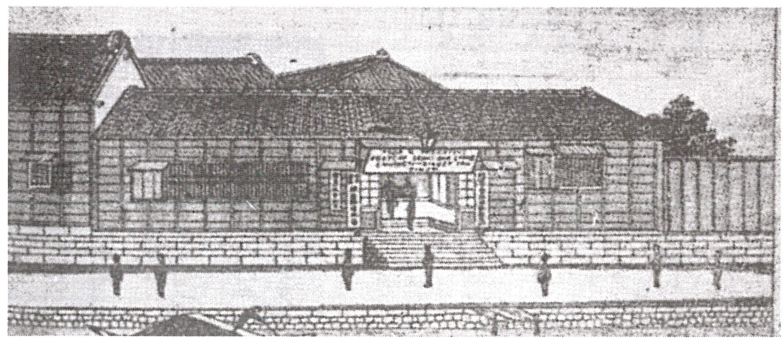
江戸藩邸内に生まれ、幼い頃から佐野藩の藩校で学んだ。父は同藩家老に引き立てられるほどの人気者で、勝三も藩に出仕し文武に励んだ。19歳の時長崎に開設された海軍伝習所を受験するが落選しその後脱藩。大阪鉄砲奉行で銃隊の訓練を受け、江戸で砲術や化学を学んだ。科学知識が縁で豪商正田利右衛門を知り、鉛精錬の反射炉造りに励むが失敗。1860年の桜田門外の変に伴い、当時大老職の彦根井伊家に正田は勝三の進言で小銃数十挺を献納し賞揚される。その後正田を離れた勝三は横浜運上所倉庫の火事に遭つ

て安く売り出されているオランダ人所蔵の百数挺の銃を買った。勝三は転売して大きな利益を伊勢屋の屋号を継いだ横浜伊勢屋にもたらした。さらに日本橋に鉄砲店「伊勢屋勝三」を開く。そして顔料や薬品として重宝された朱を、いわば闇で商い、1862年の2か月間は小伝馬町の牢獄で過ごす。仮出所中の身で、アメリカ商館とライフル等二千数百挺の売買契約を結んだことが発覚。官憲により店は封鎖、全従業員が拘束される。全責任は私一人にあると自首した勝三に大村益次郎は感じるものがあり、改めて1869年（明治2年）の秋、勝三に軍制改正に伴う軍靴の上納を命じた。満を持して1870年に築地入船町に伊勢勝造靴場を開業した。清国から靴工藩治を迎え、同時に製革工場を設けて原料である革の国産化も図った。1872年には兵部省より向こう十年間毎年十萬足の革靴



靴教師 レマルシャン

の上納を命ぜられる。オランダ製靴技術者・レマルシャンを招聘、設備も増強し、日本人の足に合う革靴製造に全力を傾けた。



依田西村組造靴場（明治10年）

しかし新国家日本は税収も不安定で、1872年には軍需品発注調整のもと、十萬足が二万二千足へと激減、膨大な資本投下をした勝三は、倒産した。

旧藩主堀田家の出資を仰ぎ、家老の依田柴浦を番頭に迎えて、依田西村組として再建を期した。七転び八起き。不屈の勝三の活躍は日清日露戦争での日本陸軍を軍靴で支え、日本人の履物を草履から靴へと大きく変えていった。

渋沢栄一とも交流があり1876年には東京瓦斯局の副事務長に西村勝三が、事務長には渋沢栄一が就任しています。ガス事業は東京府から民間に払い下げられ現在の東京ガス株式会社となりました。

また、現在のリーガルコーポレーションは、西村勝三が中心となり1902年に現在の中央区銀座に日本製靴株式会社を設立しました。

軍靴製造として始まった日本の靴産業は、今やファッションの一翼を担い「日本の靴」ブランドとしてさらに世界へ飛躍しています。

本号より誌面が二面構成となります。

理事会・支部連絡会

令和六年二月二十六日(月)
午後二時 西村記念ホール

出席者12名

司会の木内副会長より理事会の開始を告げ、栗原会長より「先日ミカムの展示会へ行つてまいりました。イタリアのメーカーは単価が上がつていて、紳士靴の良いものは80ユーロ(約13,000円)と、関税等もあり日本での小売り販売価格は4万円近くになつてしまします。

また、多く目についたものは女性ロングブーツでした。各メーカーのブースに多くみられました。私が90年代に行つた際は、国内の販売より輸出に力を入れていました。今ではイタリアに輸出をすると回収が心配だから慎重に...との声も聞かれました。イタリアという靴の先進国でも、サイズを揃え販売するのは大変なようだと感じました。次にロンドンへ寄りましたが、西にあるオーストラリア資本の「ウエストフィールド」というショッピングセンターが10年ほど前にできましたが、今回は営業をやめた。シャッターが閉まつている靴店が多くみられました。また、カナダからの靴店でも閉店セールを行っていました。その中、オフイスというファッ

ション性の強い店舗は営業していませんし、スニーカーショップのフットロックカーと地元のスニーカーショップは営業していません。このように、だいぶ変化しています。ロンドンの中央には、ハロッズとセルフリッジという百貨店がありますが、ハロッズは靴のメインはイタリアの高級紳士靴、デザイナードブランドの紳士靴でした。もう一方のセルフリッジでは、以前は同じように高級紳士靴をメインにしていましたが、80〜90%はデザイナードブランドのスニーカーで構成されてきました。激しい変化を感じました。

また9月に展示会があるのので、変化等見てこようと思つています」と挨拶をし議事に移った。

一、靴まつりお買物券について

松戸専務理事よりお買物券の換金期限は3月11日です。で忘れないようにと説明した。

二、親和会総会・新年会の件

続いて松戸氏から無事に終了したと説明があった。(別項参照)

三、靴の記念日式典の件

清水事務局より、日本靴連盟主催で3月15日に神田明神で開催する。今回は懇親会も予定している、と説明した。

四、靴の記念日催事について

3月1日から開催のためポスター等順次発送している、と説明し協力の要請を行った。

五、その他

靴の記念日の葉書の部分に

i/288の項目があるが、一部の店舗での取り扱いの商品紹介はどうか?との質問もあり、このような取り組みもあることを知ってもらおう、とのこと。会長も承認している、と説明した。

続いて各委員会等の予定を説明し理事会は終了した。

親和会総会・新年懇親会開催

東靴協会親和会の令和五年度の総会および新年懇親会が二月十五日(木)・十六日(金)、箱根湯元温泉「河鹿荘」において八名が参加して開催された。小田急線新宿駅に集合し早めに箱根湯本に到着。昼食をともにし、旅館へ向かった。

各部屋に分かれ、それぞれ温泉を満喫し、部屋でくつろいでから夕刻より懇親会場へ移った。

最初に司会の松戸専務理事が、「事務局の立場で報告いたします」として、先日靴連盟の会合の際、神田明神で毎年靴の記念日の式典を行つているが、協会には神棚もなく神社とお付き合ひの方法を見直したら?とご意見をいただいた。については神社の正しいマナーなどについて、数名で勉強することとなった。さらに大型店舗の会費の件、中央支部の現状など協会の動きなどを話した。

続いて小堤幸雄氏が、「遠

い箱根まで足をおはこびいただきありがとうございます。参加者も減少してしまいます。が楽しい懇親会にいたしましよう」と話し、乾杯を行った。河鹿荘の会席料理を堪能し、カラオケでは自慢のものを披露し、楽しいひと時を過ごした。

その後8時からはホテル内のクラブで二次会の席も準備され、ここでもカラオケや歓談で大いに盛り上がり、楽しい新年会となった。



東京都中小企業景況調査(1月)

業況：ほぼ横ばいで推移
見通し：2か月連続で改善

卸売業			業況			
対象数	回答数	回答率	1月		今後3か月間見通し(当月比)	
			悪い	良い	悪い	良い
875	342	39.1%	-100	0	100	0
衣料・身の回り品	1. 男子服					
	2. 婦人・子供服					
	3. 靴・履物					
	4. かばん・袋物					
	5. 装身具・身の回り品					

小売業			業況			
対象数	回答数	回答率	1月		今後3か月間見通し(当月比)	
			悪い	良い	悪い	良い
875	296	33.8%	-100	0	100	0
衣料・身の回り品	1. 呉服・服地・寝具					
	2. 男子服					
	3. 婦人服					
	4. 子供服					
	5. 靴・履物					
	6. かばん・袋物					
	7. 雑貨・身の回り品					
	8. 時計・眼鏡					
	9. ジュエリー製品					

社名	12月	1月	2月	
チヨダ	既存店売上	-9.1	6.7	15.4
	客数	-14.5	-4.6	4.2
	客単価	6.2	11.8	10.6
	店舗数	900	891	885
ABCマート	既存店売上	10.3	11.3	18.1
	客数	2.7	6.2	9.8
	客単価	7.5	4.8	7.6
	店舗数	1085	1083	1081
Gフット	既存店売上	-13.7	5.7	7.3
	客数	-25.6	-15.9	-14.8
	客単価	16.1	25.7	26.0
	店舗数	663	651	645

在庫一掃セールにより集客が増加したため売上が好調。春物の新作や学需のローファーが好調。(ABCマート) 春の新商品中心にスポーツシューズの売上が好調。日本海側を中心に雨や雪の日が多かった為、レイン、防寒、防滑アイテムが好調実績となった。(ジーフット)

靴専門店・大手三社の直近3か月売上推移

閏年で営業日が1日多かったこともあり好調。商品では防水関連の商品が好調。(チヨダ)